



第103期 株主通信

2024年4月1日 ▶ 2025年3月31日



『中期経営計画2028』を5月に公表

プライム市場への昇格を見据え、更なる企業価値の向上へ

株主の皆様には日頃より当社グループへのご支援を賜りまして、心よりお礼申し上げます。

さて、先日第103期（2024年4月1日～2025年3月31日）の決算の発表ならびに「中期経営計画2028」を公表いたしましたので、株主の皆様には当社グループの状況、そして今後の取組等を詳細にお伝えできればと思います。ご一読いただけますようよろしくお願い申し上げます。

株式会社ヒガシホールディングス

取締役 代表執行役社長 児島 一裕

Q1 2025年3月期の業績についてポイントを教えてください。

2025年3月期は、全事業領域で成長投資を実行し、グループ一丸となって事業取組を進めた結果、売上高は481億円（前年同期比18.4%増）、経常利益は29.3億円（同27.1%増）と、ともに過去最高を更新したことに加え、中期経営計画2026の経営目標数値の大半を1年前倒しで超過達成いたしました。

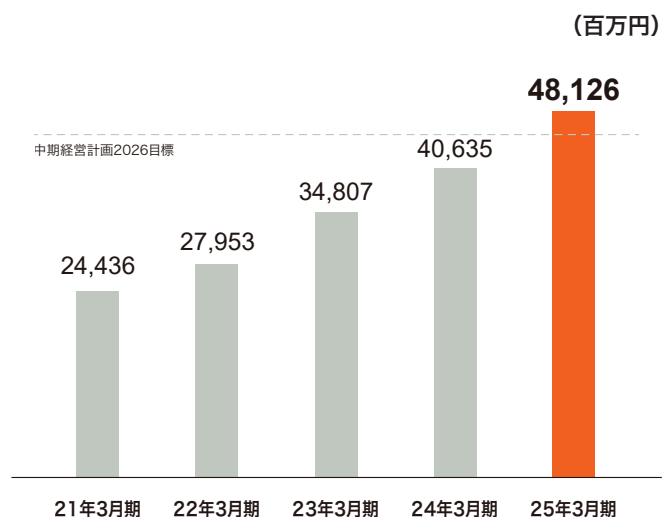
好調な業績を受け、期末配当は前期の36円から6円積み増し、2025年3月期の最終的な一株当たり配当金は42円（配当性向30.7%）とさせていただきます。

売上高は、大手EC向け新規大型3PLセンター（神戸西LC、川西LC）の稼働や、大手EC向け輸送業務の拡大、大手インフラ会社向け資材販売業務の拡大に加え、2024年6月に子会社化した株式会社ネオコンピタンスの新規連結などにより、目標数値を大きく上回る増収となりました。※LC：ロジスティクスセンターの略（以下同様）

また、経常利益は、上記の業容拡大に加え、大手EC向け大型3PLセンター（流山LC、鳴尾浜LC、北大阪LC）の本格稼働などが牽引し、増益となりました。

売上高・経常利益の推移

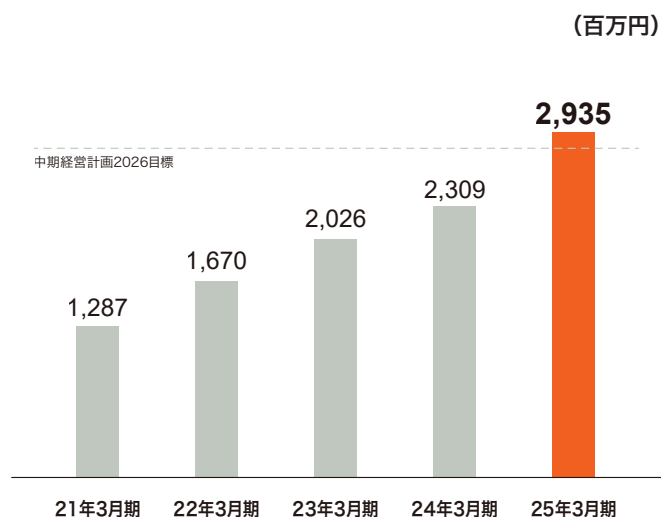
売上高



なお、2025年3月期の実績が、中期経営計画2026の主たる経営目標数値「売上高450億円、経常利益28億円」を1年前倒しで超過達成したことを受け、中計2026を2年で収束し、今般、新たに「中期経営計画2028」を策定いたしました。※詳細はQ2をご確認ください。

さらに、この好調な業績結果を踏まえ、2025年3月期の最終的

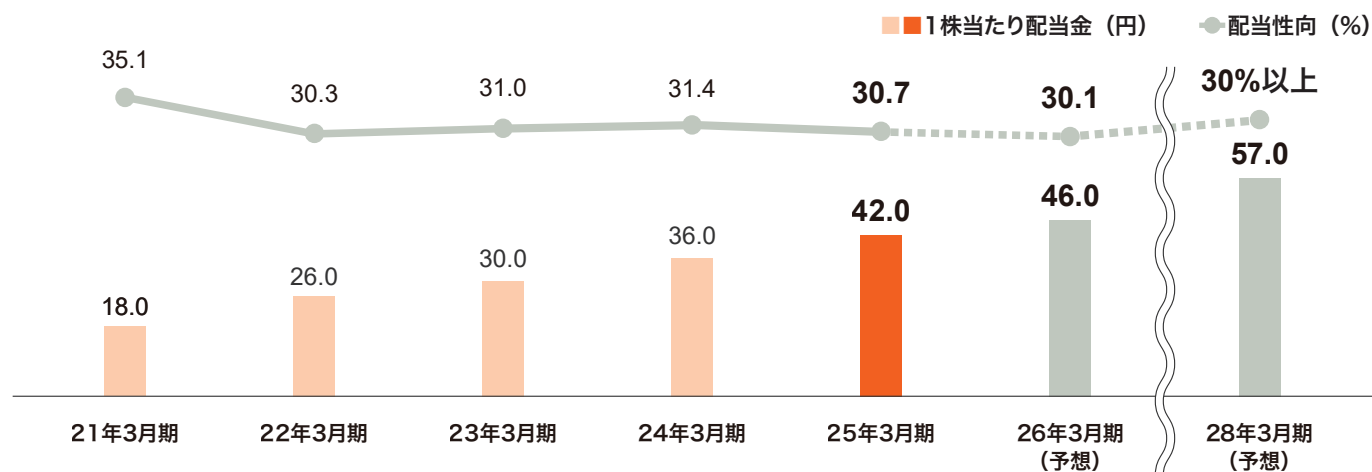
経常利益



な1株当たり配当金は前年から6円積み増しの42円とさせていただきます。

今後も当社グループでは、長期的発展の礎となる財務体質の強化と、安定配当の維持を基本としつつ、成長により獲得した利益を、連結配当性向30%以上を目安に還元する方針を掲げ、株主の皆様へ評価いただけるよう、株主還元を進めてまいります。

1株当たり配当金・配当性向の推移



Q2 中期経営計画2028における経営方針・経営戦略について教えてください。

「プライム市場昇格へ向けたファンダメンタルズを完成させる3年」をテーマとする中期経営計画2028のもと、プライム市場昇格という新たなステージを目指し、各領域での事業成長、サステナビリティ経営の推進、経営基盤強化に取り組んでまいります。

当社グループは、2020年に長期経営ビジョン「ヒガシグループ VISION 2030」を策定、「Evolution for Customers ― 全進で未来へ“シンカ” ―」のスローガンを掲げ、更なる成長加速の実現に向け、事業運営に取り組んでまいりました。

その結果、ビジョン策定時には251億円（2020年3月期）であった売上高が481億円（2025年3月期）となり、株価も約2.5倍となるなど、当社グループは大きな事業成長を遂げることができ、新たなステージであるプライム市場への昇格が視中に入っております。

これを受け、当社グループはこれからの3か年を「プライム市場昇格へ向けたファンダメンタルズを完成させる3年」とし、新たに中期経営計画2028（2026年3月期～2028年3月期）を策定いたしました。

昇格に向けて業績伸長は不可欠であり、最終年度の数量目標を「売上高550億円、経常利益35億円」と設定し、EC領域や新規M&A等の成長投資を始めとして全事業領域の成長を通じ、グループ売上高の更なる成長を目指してまいります。

また、グループガバナンス水準の高度化も昇格に向けては極めて重要と考えており、2025年4月のホールディングス体制への移行も、昇格へ向けた取組の一つです。年々拡大を進める当社グループにおいて、ホールディングスが各グループ会社を横串で深度深く管理・支援することにより、グループガバナンスの高度化を進めてまいります。

中期経営計画2028を通じ、各事業領域での事業成長やサステナビリティ経営の推進、経営基盤強化に取り組んでまいります。



（財務面における数量目標）

項目	2025年3月期 実績	2028年3月期 中期経営計画2028目標
売上高	481億円	550億円
経常利益	29億円	35億円
1株当たり配当金	42円00銭	57円00銭
ROE	14.0%	8%以上
配当性向	30.7%	30%以上
従業員数	1,603名	1,800名

<主要取組>

■ 全事業領域の成長を通じ、グループ売上高の更なる伸長を目指す

- プライム市場移行に向け、売上・利益水準の引き上げは必須。全事業領域の成長を通じ、グループ売上高の更なる成長を目指す

■ 成長投資（EC領域、新規M&A等）の追求

- EC領域では、新規倉庫開設に加え、庫内作業標準化、業務効率化、人材確保等を通じた収益基盤強化に取り組む
- 培ったノウハウをもとに、新規M&Aによる成長投資を継続する

■ 強固なグループ経営基盤構築

- プライム市場移行を見据え、HD主導でのグループガバナンス高度化、水準引き上げ
- 経営資源の最適な再配分機能強化

■ サステナビリティ経営の推進

- TCFD開示、CO₂排出量削減目標達成に向けた取組
- 人的資本価値向上に向けた人材育成と採用戦略
- 輸送安全に関する目標設定と安全に向けた取組
- ひまわりプロジェクトを軸とした社会貢献活動
- コーポレートガバナンス強化に向けた取組

Q3 今後の業績見通しについて教えてください。

2026年3月期の業績見通しについては、大手EC向け配送業務・庫内作業や、新規自社倉庫（小牧LC）の稼働等が寄与し、売上高は510億円、経常利益は31億円を見込んでおります。

2024年8月に大手EC向けに兵庫県川西市に開設した大型3PLセンター（川西LC）や、2025年2月に一般荷主向けに愛知県小牧市に開設した小牧LCの本格稼働に加え、前期の下半期より連結を開始した株式会社ネオコンピタンスの連結期間の通年化や、大手EC向け配送業務の拡大などにより、売上高510億円（前年同期比6%増）を見込んでおります。

利益については、幅広い事業領域での業容拡大に向けた車両・設備・人材への投資が計画されているものの、上記の業容拡大に加え、大手EC向け大型3PLセンターの物流効率向上等への取組を

通じた収益力向上により、経常利益31億円（前年同期比5.6%増）を見込んでおります。

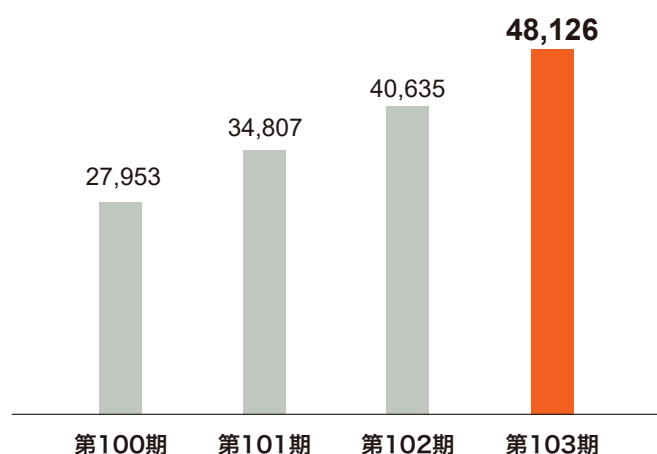
当社グループは、新たにスタートした中期経営計画2028の初年度として、グループ一丸となって全事業領域における成長戦略の遂行に努めてまいります。

Evolution for Customers

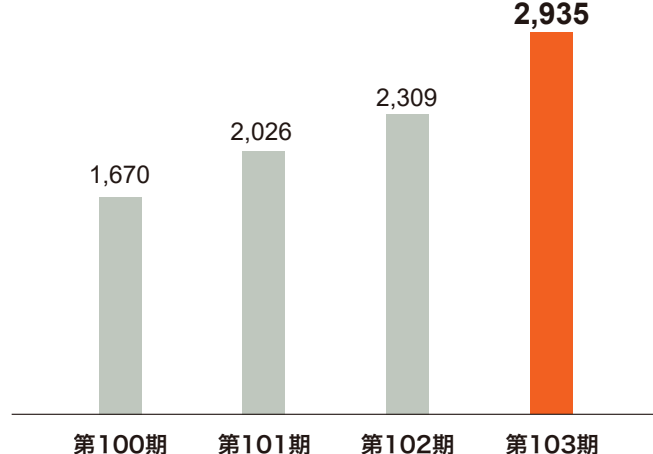
—— 全進で未来へ “シンカ” ——

決算ハイライト

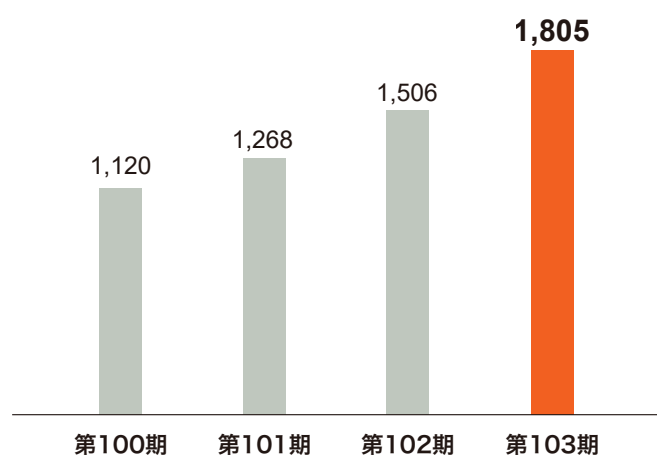
売上高（百万円）



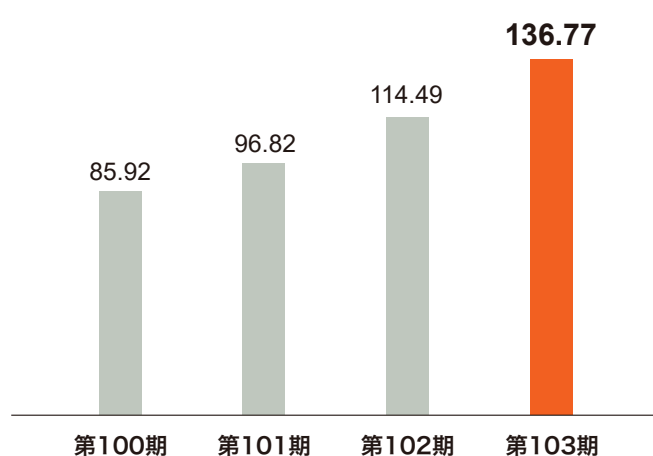
経常利益（百万円）



親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）



1株当たり当期純利益（円）



（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

事業の概況

セグメント情報

■ その他事業

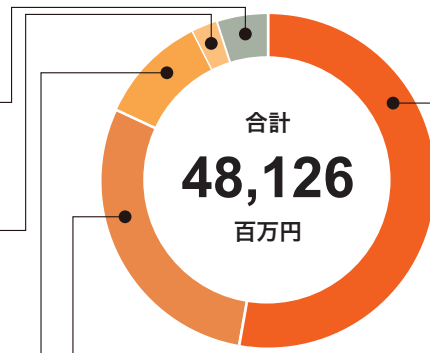
2,401 百万円 **5.0%**

■ ウエルフェア事業

1,140 百万円 **2.4%**

■ 商品販売事業

5,061 百万円 **10.5%**



■ 運輸事業

25,481 百万円 **52.9%**

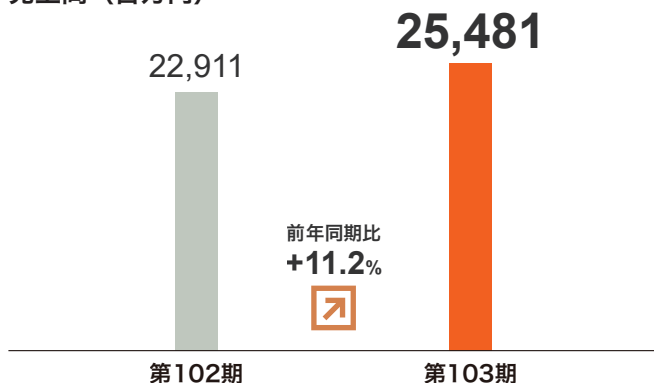
■ 倉庫事業

14,040 百万円 **29.2%**

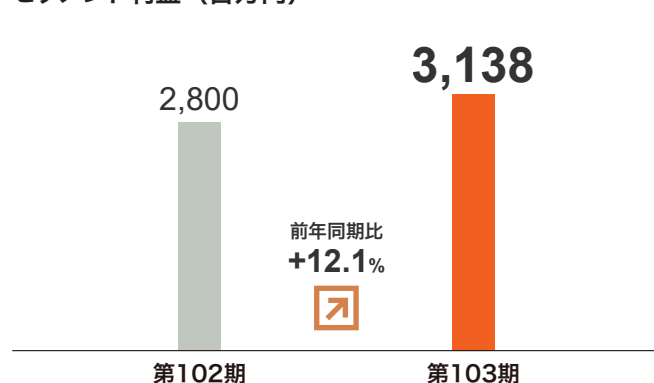
運輸事業

当事業につきましては、売上高は254億81百万円（前年同期比11.2%増）となり、セグメント利益は31億38百万円（同12.1%増）となりました。これは主に、新貨幣対応の精密機器配送・設置業務や、大手EC向けの配送業務により売上が増加したことによるものです。

売上高（百万円）



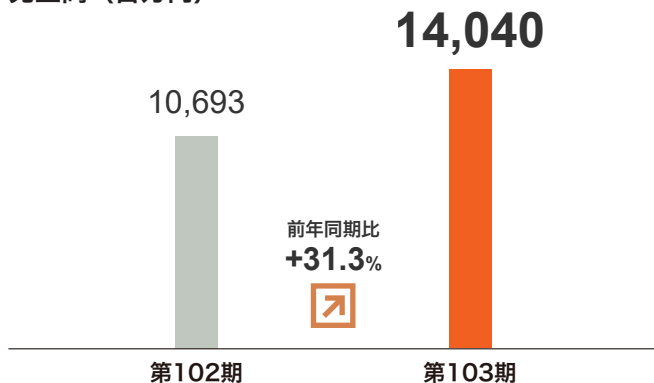
セグメント利益（百万円）



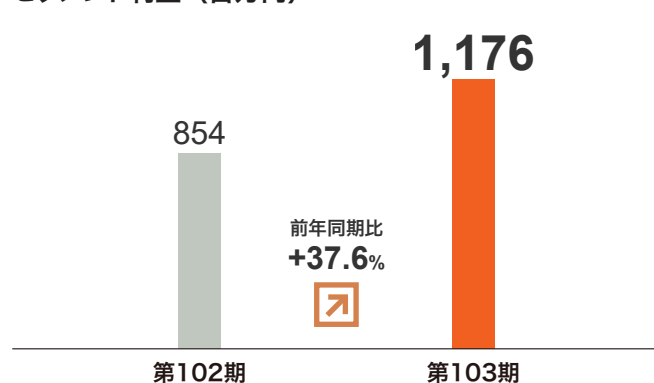
倉庫事業

当事業につきましては、売上高は140億40百万円（前年同期比31.3%増）となり、セグメント利益は11億76百万円（同37.6%増）となりました。これは主に、大手EC向け業務の倉庫開設により売上が増加したことによるものです。

売上高（百万円）



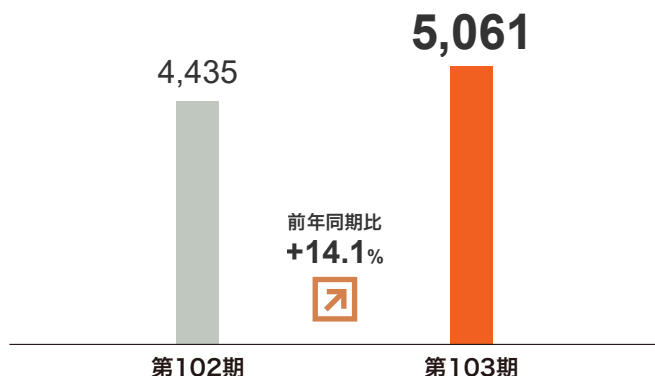
セグメント利益（百万円）



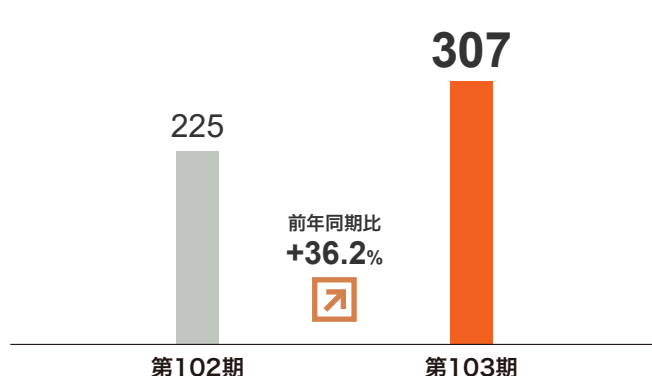
商品販売事業

当事業につきましては、売上高は50億61百万円（前年同期比14.1%増）となり、セグメント利益は3億7百万円（同36.2%増）となりました。これは主に、大口得意先に対する資材販売業務が増加したことによるものです。

売上高（百万円）



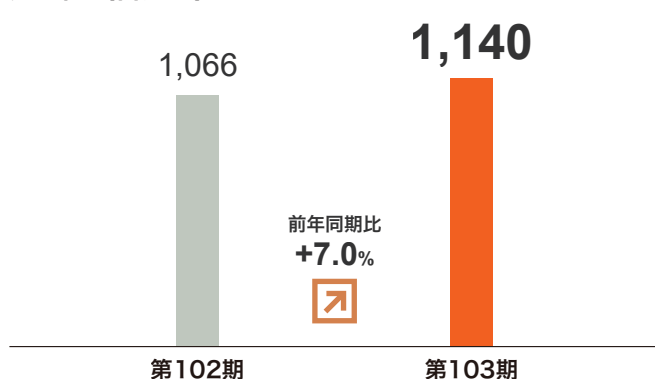
セグメント利益（百万円）



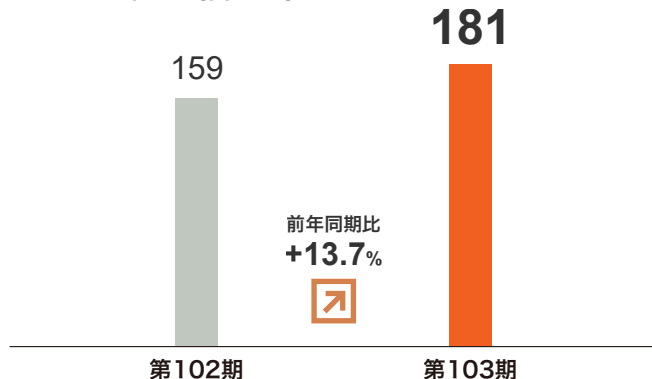
ウエルフェア事業

当事業につきましては、売上高は11億40百万円（前年同期比7.0%増）となり、セグメント利益は1億81百万円（同13.7%増）となりました。これは主に、福祉用具の貸出しにより売上が増加したことによるものです。

売上高（百万円）



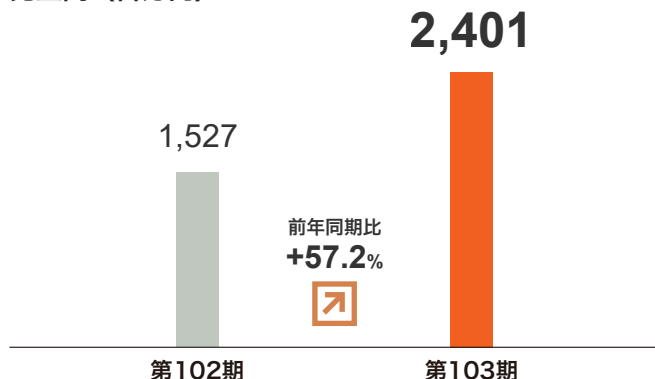
セグメント利益（百万円）



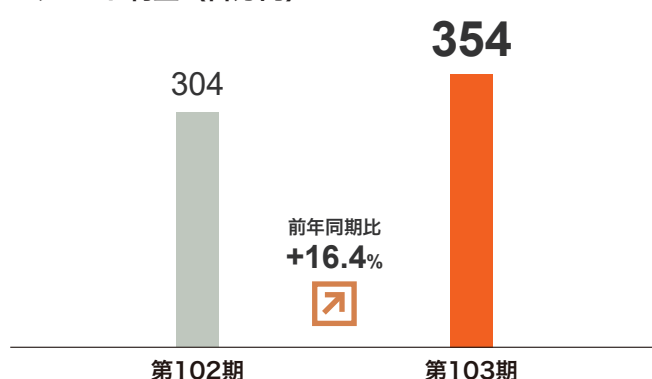
その他事業

当事業につきましては、売上高は24億1百万円（前年同期比57.2%増）となり、セグメント利益は3億54百万円（同16.4%増）となりました。これは主に、株式会社旅人における2024年4月からの価格改定や、2024年10月より株式会社ネオコンピタンスの新規連結の開始により売上が増加したことによるものです。

売上高（百万円）



セグメント利益（百万円）



TOPICS



TOPICS 1 ▶ 土地を新規に取得し、小牧ロジスティクスセンターを建設いたしました

当社グループは愛知県小牧市で土地を取得し、新倉庫「小牧ロジスティクスセンター」を建設いたしました。

当施設は天井クレーンを設置しており、重量物・鋼材保管なども含めた多様な品目に柔軟に対応できる設備を備えております。また、中部エリアの基幹拠点として関東・関西エリアへの広域配送ニーズにも対応可能な施設です。

当社ではお客様に最適で高品質な物流サービスを提供できるよう、更なるサービスレベルの向上を目指して設備投資等にも取り組んでいます。引き続き、ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

▶ 小牧ロジスティクスセンターの概要



倉庫外観

建物名称	小牧ロジスティクスセンター
所在地	愛知県小牧市小木南2丁目1-1 →名古屋高速道路「小牧南IC」約1km →名神高速道路「小牧IC」約4km
延床面積	5,127.07坪（1棟）
稼働開始	2025年4月



地図

TOPICS 2 ▶ 株式会社FMサポート21が新拠点でのビルデリバリー事業を開始いたしました

当社グループの株式会社FMサポート21では、独自のノウハウを活かし高層ビル内配送を効率化する『ビルデリバリー事業』を展開しています。ビル内の複雑な物流を一括管理することで、施設周辺道路の渋滞や路上駐車との緩和に伴うCO₂の削減、施設内のセキュリティ強化、各テナントご担当者様の作業負荷の軽減、来館者・歩行者の安全確保など、物流の「効率化」だけにとどまらず、ビル管理会社様、入居テナント様、そして来館される皆様にあらゆる価値を提供しています。

直近では、近年の都心大規模再開発の機会を捉えたビルデリバリー拠点の拡大を着実に進めており、2024年12月にはグラングリーン大阪南館（大阪府）、2025年2月には虎ノ門アルセアタワー（東京都）での新規ビルデリバリー業務を開始しております。

グラングリーン大阪



提供：グラングリーン大阪開発事業者

虎ノ門アルセアタワー



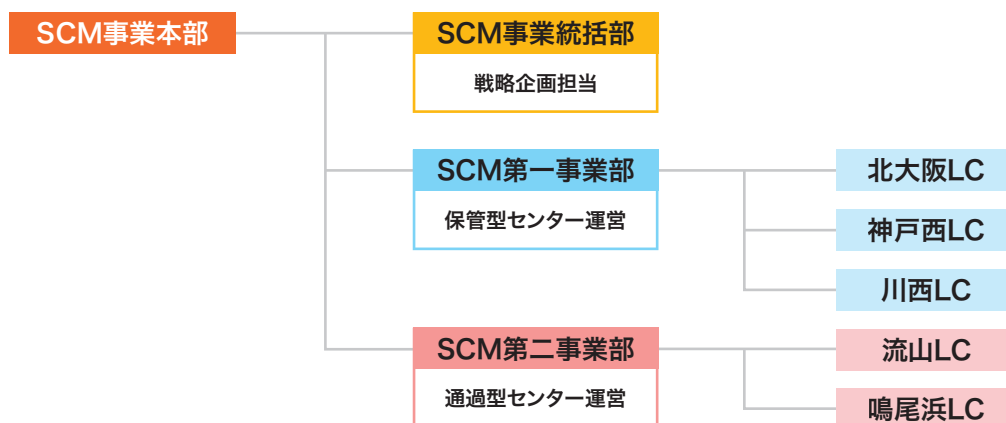
提供：日鉄興和不動産株式会社

TOPICS 3 ▶ 大手EC向け3PL業務の拡大を受け、SCM事業本部を新設いたしました

大手EC向け3PL業務は、これまでの相次ぐロジスティクスセンター開設による大幅増収を通じ、当社グループの主力事業に成長しております。2025年4月には、急速な事業成長を受け人員増強を図るとともに、各ロジスティクスセンターの連携や人員配置を戦略的に統括するため、SCM事業本部を新設いたしました。

中期経営計画2028においても、「庫内作業標準化」、「データ管理による業務効率化」、「人材採用、人材育成」等を通じた収益基盤強化及び、新規倉庫開設に取り組んでまいります。

SCM事業本部組織図



【SCM第一事業部】には保管型のセンター運営を行う「北大阪LC」、「神戸西LC」、「川西LC」を配置、
【SCM第二事業部】には、通過型のセンター運営を行う「流山LC」、「鳴尾浜LC」を配置し、
【SCM事業統括部】は【SCM第一事業部】と【SCM第二事業部】の業務の標準化や品質向上を担う。

TOPICS 4 ▶ 2024年度下半期のCSRに関する取組をご紹介します

当社グループでは、太陽のようにあたたかく、ひまわりのようにやさしい気持ちで子どもたちの未来を応援したいという思いを「ひまわりプロジェクト」と名付け、子どもを軸とした様々な支援活動を行っています。

① 「こころの劇場」大阪府公演への協賛と運営ボランティアの参加

当社グループが2023年度より協賛している「こころの劇場」（主催：一般財団法人舞台芸術センター／劇団四季、後援：文化庁）大阪府公演に、当社社員が運営ボランティアとして参加いたしました。

「こころの劇場」は、全国の小学生を学校単位で劇団四季ファミリーミュージカル公演へ無料招待するプロジェクトであり、子どもたちの豊かな心の育成を目指し、「生命の大切さ」「人を思いやる心」「信じあう喜び」など生きていく上で大切なことをテーマとした舞台作品を通じて、感動の輪を広げる取組です。

<2024年度の上演作品と観劇の様子>

<協賛企業パネル>



劇団四季ミュージカル『ガンバの大冒険』

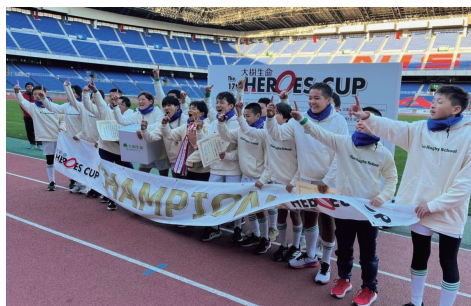


出演者によるお見送りの様子



② 「第17回大樹生命ヒーローズカップ」決勝大会への協賛

ヒーローズカップとは、青少年のラグビー活動を通じて豊かな社会の創造と次世代育成を目指すNPO法人ヒーローズ主催の全国小学生ラグビーフットボール大会です。当社グループは本大会の開催趣旨に賛同し、2017年度から毎年継続して協賛を行っており、2024年度は2025年1月25日・26日に日産スタジアム（神奈川県横浜市）で開催された決勝大会に対して協賛いたしました。



③ 園児向け「交通安全教室」開催

当社グループでは交通安全啓発の取組として、2019年より地域の保育園児・保育士に交通ルールや交通安全への知識を伝える「交通安全教室」を実施しております。2024年度は当社大阪本社ビルに入居しているピッコロ子ども倶楽部谷町園、ぴっころきず谷町園の3～5歳の園児約60名を対象とし、東警察署交通課と共同で開催いたしました。



当社グループは「安全と安心を大切にして、物流事業を通じ社会に奉仕する」という経営基本方針のもと、子どもたちを安全・安心に育むことのできる社会の実現を目指し、引き続き様々な社会貢献活動に取り組んでまいります。



会社概要・株式の状況



会社概要 (2025年3月31日現在)

社名	株式会社ヒガシホールディングス HIGASHI HOLDINGS CO., LTD.
設立	1944年12月
本社	大阪市中央区久宝寺町三丁目1番9号 〒540-0013 TEL06 (6945) 5611 (代)
東京本社	東京都港区新橋一丁目18番16号日本生命新橋ビル9階 〒105-0004 TEL03 (6457) 9121
資本金	10億円
主なグループ事業内容	サードパーティ・ロジスティクス (3PL) 事業、輸送事業、倉庫保管事業、ドキュメントサービス事業、物流加工事業、事務所移転引越事業、IT関連事業、ビル内デリバリー事業、介護福祉関連事業、駐車場運営事業、オフィス関連サービス事業、機密文書リサイクル事業、産業廃棄物管理事業、人材派遣事業
従業員数	連結従業員数1,603名
グループ会社	ユートランスシステム株式会社 株式会社イシカワコーポレーション 株式会社FMサポート21 株式会社トランスポート21 株式会社ワールドコーポレーション ヒガシオフィスサービス株式会社 山神運輸工業株式会社 株式会社旅人 株式会社ネオコンピタンス

役員 (2025年6月13日現在)

取締役				執行役			
取締役	児島 一裕	社外取締役	樋口 真人	代表執行役社長	児島 一裕※	上席執行役	角野 公史※
取締役	山田 寛	社外取締役	大西 由紀	常務執行役	山田 寛※	上席執行役	外園 千尋
取締役	田口 宗勝	社外取締役	脇 陽子	常務執行役	田口 宗勝※	上席執行役	新井 慶景
取締役	角野 公史	社外取締役	勝田 達規	常務執行役	久下 真司	上席執行役	山川 圭洋
社外取締役	江上 雅彦	社外取締役	鶴川 勝利			上席執行役	日吉 晋介

※は取締役を兼務しております。

執行役員 (2025年6月13日現在)

上席執行役員	井上 和大	執行役員	大久保律夫
執行役員	吉原 永詞	執行役員	岩井 和彦
執行役員	新村 誠司		

株式の状況

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	13,025,975株
	(自己株式238,025株を除く。)
株主数	5,289名

配当の状況

中間配当	行っておりません。
期末配当	1株42円
*現在、配当の決定は通期の業績を踏まえて実施しているため、年1回の期末配当としております。	

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
関西電力株式会社	1,800	13.8
日本生命保険相互会社	1,040	8.0
星光ビル管理株式会社	938	7.2
株式会社毎日新聞社	700	5.4
ヒガシトゥエンティワン従業員持株会	599	4.6
東京センチュリー株式会社	540	4.1
株式会社星和ビジネスリンク	382	2.9
株式会社三菱UFJ銀行	364	2.8
金森滋美	201	1.5
株式会社西日本シティ銀行	200	1.5

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

2. 持株比率は、自己株式(238,025株)を控除して計算し、小数点第2位以下を四捨五入しております。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
公告の方法	電子公告により行う。公告掲載URL https://www.e-higashi.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、毎日新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



当社をよりご理解いただくためにも、是非ご覧ください。

<https://www.e-higashi.co.jp> ヒガシホールディングス 検索

公式SNSはこちら



ヒガシグループ



ヒガシグループ

